

“鍛えて、ほめて、伸ばす！子どもの可能性”
 ～「鍛ほめ福岡メソッド」展開中！～



福岡教育事務所・社会教育室

事業報告	令和2年度福岡教育事務所管内「子どもの読書活動研修会」	
期 日	令和2年11月27日（金） 13：15～15：45（受付13：00～）	
参加者	66名（会場参加者46名・オンライン参加者20名）	
日 程	時 間	内 容
	13：00	【受 付】
	13：15	【開会行事】
	13：20	【説 明】「今こそ！読書活動の推進を！」 福岡教育事務所 社会教育室 社会教育主事
	13：30	【実践発表】「宇美町子どもの読書推進活動の取組 ～小学生読書リーダー養成講座を中心として～」 宇美町立図書館 主査 児玉 恵 氏
	14：00	【講 話】「筑後市立図書館での取組 ～本の力で育っていく子どもたち～」 筑後市立図書館 館長 一ノ瀬 留美 氏
	15：30	【講 評】 福岡県立図書館 総合サービス室 子ども図書班長 福澤 啓一 氏
	15：40	【閉 会】
	15：45	
活動の実際	【実践発表】 宇美町立図書館主査の児玉 恵氏に、「宇美町子どもの読書推進活動の取組～小学生読書リーダー養成講座を中心として～」と題して、実践発表をしていただきました。今年度、宇美町立図書館に、福岡県子どもの読書活動推進事業の「読書の交流事業」に取り組んでいただき、その事業を中心としたお話でした。	



【児玉氏による実践発表の様子】

	事業を実施する上で新型コロナウイルス感染拡大防止対策や、町立図書館と学校図書館の連携について、図や写真を用いて丁寧に説明していただきました。コロナ禍の中での取組を具体的に話していただき、他の市町の参考となる実践発表でした。 参加者のアンケートに、「コロナ対策が徹底されていて勉強になった」や「図書館と学校の連携のいろんな事例を出していただき、参考になった」など、今後の取組の参考になったという感想が多く聞かれました。 【講 話】 筑後市立図書館長の一ノ瀬 留美氏に、「筑後市立図書館での取組～本の力で育っていく子どもたち～」と題して、講話をしていただきました。筑後市立図書館は、10年間で本の貸し出し冊数が3倍に伸びており、図書館での取組が注目されています。 「生活（くらし）とともにある図書館」という筑後市立図書館のテーマのもと、幅広い視点から子どもの読書活動について話していただきました。「図書館は成長する有機体」であり、日々変化をしていかなければならないというお話に始まり、その考えから繰り出される様々な筑後市立図書館での取組が紹介されました。コロナ禍にあっても子どもたちに本を届けたいという一ノ瀬氏の熱い思いが伝わってくるお話でした。 参加者のアンケートに、「アイデア満載だったので刺激になった」や図書館の可能性は無限大だとワクワクしてきました」など、一ノ瀬氏の話が今後の取組の参考になったという感想が多く聞かれました。
全体を とおして	アンケートに、「コロナ禍の中でも、積極的に活動されており、私たちもできるところから取り組みたい」や「行政組織と図書館の連携事業の企画を考えたい」などという感想が聞かれ、それぞれの参加者が今後の取組のヒントを得ることができたのではないかと考えます。 福岡教育事務所社会教育室といたしましても、今後も管内市町に対しての支援や情報提供を行い、子どもの読書活動の推進に取り組んでいきたいと思ひます。



【一ノ瀬氏による講話の様子】